

私を生きる

—白樺八青プロデュース—

第158回芥川賞
受賞作品

おらおらでひとりいぐもより 若竹千佐子 著 (株)河出書房新社

つながる空へ… 白樺八青 書下ろし作品

日時◎2019年4月6日(土)14時開演
(13時30分開場)

会場◎HITOMIホール
名古屋市中区葵3丁目21-19 メニコンANEX 5階
TEL052-935-0918

入場料◎1,000円(全自由席)

出演◎朗読グループ「イヴ」

作曲・シンセサイザー◎吉田奈津

構成・演出◎白樺八青



池谷律子 林節子 大岩知恵子

●朗読グループ「イヴ」

一つの作品を通して、「作家と朗読者と聴き手の想いが一つになる」そんな時間を作り出したいと2016年に結成されたグループ。今回が5回目の公演となる。



作曲・シンセサイザー ●吉田 奈津
ピアノ奏法、及びシンセサイザー・マニピュレート法を吉川朗氏に師事。
クラシックピアノを故・竹中勇記彦氏に師事。
INVISIBLE GROOVE専属キーボーディスト。
5つのコーラスチームで編曲及びピアニストをつとめる。他、ピアノ&エレクトーンアンサンブルや、ハワイアンユニットでは、演奏のみならず編曲・トータルプロデュースなど多彩に活動の幅を広げている。
ond° 音楽教室(春日井市) ピアノ講師。



構成・演出 ●白樺八青(しらかば・やお)
ミュージカル俳優として多くの舞台に出演ののち、ボイスパフォーマーとして声と言葉の表現を続ける。人々の声と言葉を开花させる「ことばのまなびや」主宰。その公演では、台本・演出も手掛ける。愛知芸術文化協会、中部ペンクラブ会員。守山の文化を考える会副代表。

「おらおらでひとりいぐも」

若竹千佐子著 (株)河出書房新社
作者は岩手県生まれ。千葉県在住の専業主婦。デビュー作の本作が第54回文藝賞を史上最年長で受賞した。また同作品で第158回芥川賞を受賞。

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」

主人公桃子さんの内から外から、東北弁で語る声がジャズセッションのように湧きあがる。捨てた故郷、疎遠な息子と娘、そして亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、桃子さんが辿り着いた圧倒的自由と賑やかな孤独とは……
後日、作者は上野千鶴子氏との対談で、「この作品は夫婦であったことの卒業論文みたいなもの」と語っている。

「イヴ」という魅惑的な名の朗読グループがある。朗読の世界で、かなりの実力者ぞろいである。その3人から「私たちが料理して」と奪われた。光栄なことである。演出というのは、自らの表現とは違う楽しさがある。「これはやるしかない」と腹をくくった。そして、メンバーで選んだ朗読作品が、話題の芥川賞受賞作品だ。目を通した途端、「これは声に出して読むことでまったく違う面白さが生まれる！」と実感した。しかし、それを具現化する過程で、常識的な朗読の域は軽く超えてしまうだろう。でも、世間にあふれるほどある「朗読」の中でこんな世界もあっていいのではないだろうか。「私を生きる」というタイトルのように、この星に息づく様々な人生が感じられる時間にもしたい。この文章を書いている時点ではまだ影も形もない自分の書下ろしとともに、会場の人々に、心の深いところで何かを感じていただけたらこの上なき喜びだ。……構成・演出 白樺八青

●スタッフ

構成・演出 白樺八青
音楽 吉田奈津
照明 森 晴美
協力 福島志津子
竹田千晶
河口恵理子

メニコンは禁煙運動を推進しています



名古屋市中区葵3丁目21-19 メニコンANNEX 5階